

校庭のケヤキが新緑の葉を枝いっぱい茂らせる五月を迎えました。運動会の練習の合間に、ケヤキの木陰でひと休みする児童が涼しそうです。

令和元年となった5月の大型連休を終え、67名の神石小の児童は一気に運動会へ向けて突き進んでいます。今年度の児童会の運動会テーマは『熱くなれ！みんなで輝く運動会』です。新しい令和の

時代に、神石小もみんなが希望や情熱を持ち、一人一人が笑顔で輝いていける運動会の実現をめざして練習に取り組みます。運動会を間近に控え、昼休みには自主的に応援合戦や徒競走の練習に励む高学年の声や、神石小伝統の鼓隊でトランペットファンファーレの音が窓の外から聞こえてくるようになりました。新しく最高学年となった6年生は、これまでの先輩たちの伝統を受け継ぎ、今年の運動会を成功させようと中心となって奮闘しています。練習期間は例年より厳しくはなっていますが、きっとやり遂げてくれるはずです。こんな時こそ、子どもたちは伸びていきます。

運動会当日には、神石小の児童が最高学年の6年生を中心にして一丸となり、さらに大きく成長しようとしている姿を、ぜひご覧になってください。家族、地域の皆様のお越しをお待ちしております。



＜遠足で帝釈峡に架かる橋を渡る児童＞

校長 爲平 祐嗣